

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**105**

令和3年(2021)
10月1日発行



「卓 上」 祝迫 正豊

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

INDEX

時代を読む	1
春別府 稔仁	
「コロナ禍でも頼りに」	
老健の魅力アピール 仕事の中に生きがい ...	2～5
協会だより	5
研く 究める	6～11
令和3年度 研修会	12～14
こぼれおちたもののもの ²⁹	15
三角 みづ紀	
ぶらぶらが素敵 かごしま ⁰⁵	16～17
介護職のはてな	18
老健に入るためのご案内	19
ろうけん広場	20
かごしまの食卓 秋編	21
介護用品あれこれ	22～23
あなたの地域の介護老人保健施設	24～28
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曾於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「卓 上」	29
祝迫 正豊	
編集後記	29

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の78カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。



老健施設の明日を考える

鹿児島県老人保健施設協会 理事

春別府 稔仁



老健施設は利用者の生活機能の維持向上のための総合的援助と、在宅生活維持の支援を理念に、包括的ケアサービス、リハビリテーション、在宅復帰や在宅生活を支援する地域に根ざした施設として、また連携を重視して地域との一体化を目指す施設として、ケアシステムの一端を担っています。老健が未来永劫、質の高い介護の提供と安定した経営状態を維持するためには、係る課題や問題の抽出と対応に努めることが必要であると考えます。

《人材不足》 介護業界の人材不足は深刻です。介護業界は常に売り手市場であるため、コロナ禍で失職した求職者が介護業界へ流入したとしても、慢性的な

介護人材の不足を埋めるのに十分な人材の流入は期待できないでしょう。コロナが収束すれば再び求人が増え、介護業界からの人材の大量流出も起こりかねません。人材不足は介護事業の運営と経営に大きく影響し、介護資源の質と量の低下に直結します。介護職の人材流出停止と恒常的流入のため、選ばれる職種となることが肝要です。

《増収》 老健施設は在宅支援・在宅復帰の地域拠点でリハビリ機能を提供し、機能の維持と回復の役割を担う施設と定義され、施設が在宅支援と在宅復帰機能に依拠して5類型に分類されます。施設類型上位へ移行して介護報酬が増えても、在宅復帰率、ベッド回転率、人員配置や入所者割

合などへの対応のため人件費が増大し、処遇改善加算があっても増収は容易ではありません。

《認知症の介護》 老健は認知症の入所者が多い施設です。認知症は多くの介護を必要とするため職員の業務量が増大し離職・退職の要因になります。認知症対応力の向上に努めるとともに、人材確保のためには、認知症専門棟に限定せず、認知症対応に要するすべての介護について認知症ケア加算を設定すべきでしょう。

《外国人の人材》 外国人労働者の受け入れは様々な条件や制約があり、費用の面からも決して容易ではありません。人材不足による業務量の増大が離職原因の一つであるため、外国人労働者の採用によって人材不足が解消し、労働環境の改善が図られれば離職者の減少につながります。また雇用することで外国人労働者の就労姿勢や態度に接し、異文化にも触れることができるため、職員にとっては介護についての意識変化につながります。

《介護ロボット》 ロボットと聞くとAI知能を持つ人間そっくりなアンドロイド型ロボットを

想像しますが、介護ロボットとは情報の感知、判断、動作の3要素技術を有する知能化した機械システムであり、利用者の自立支援や介護者の負担軽減に役立つ介護機器と定義されます。移動・移動・排泄・入浴支援、見守り・コミュニケーションをロボット技術の介護利用における重点分野として、分野ごとに様々な形のロボットが制作され使用されています。アンドロイド型の介護ロボットの姿はまだ見えませんが、介護ロボットが人材不足や介護者の負担軽減に寄与すると期待されます。

《感染症対策》 コロナ禍で高齢者施設における感染症対応の困難さと脆弱さが再確認されました。感染症対策における利用者や職員の安心・安全の確保が今後最も重要課題です。

《介護の明日を支える》 老健はその使命感の下、時代に乗り遅れず、ときに時代を先取りして、利用者本位で、家族に寄り添う介護を提供する施設として、地域と一体となり介護の明日を支える一翼を担う存在であり続けることでしょう。

「コロナ禍でも頼りに」 老健の魅力アピール 仕事の中に生きがい



約 60 人が参加した令和 3 年度福祉職場就活応援セミナー＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテル

鹿児島県老人保健施設協会 事務局長 下鶴 毅氏 「愛と結の街」介護福祉士長 川崎 友義氏

福祉職場就活応援セミナー（県、県社会福祉協議会主催）が 8 月、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで開かれました。「福祉のお仕事紹介」のコーナーでは県内の児童、老人、障害者福祉施設の方々が登壇。わたしたち県老人保健施設協会（今村英仁会長）からは、下鶴毅事務局長と「愛と結の街」の川崎友義介護福祉士長が出席しました。2 人は対談を通して職場環境や仕事の魅力についてアピールしました。

下鶴 介護老人保健施設

は老健とも呼ばれています。県内には約 80 施設の老健施設があります。今日のために考えた老健の

川崎

介護福祉士になって 20 年です。兵庫県の淡路島で介護とは全く違う仕事をしていました。その時に阪神淡路大震災に遭い、いろいろな人たちの助け合う姿やボランティアの方々の熱心な姿を見まして、自分も何かに寄り添う仕事がしたいと思うようになりました。それが、介護福祉士を目指すきっかけになりました。26 歳で実家の国分に帰り、27 歳の時に福祉の専門学校に入学し、29 歳から現在の職場で働いています。

下鶴

現在、職場ではどういう仕事をされていますか。

川崎

老健のご利用者は、入所目的と目標を持って入所されてきま

すので、介護福祉士として、どのような支援をすることで目標が達成できるか、日々、考えながらケアをしています。また、自宅で介護をする家族に対して介護のアドバイスや福祉用具を使う際の指導なども行ったりもします。私は介護福祉士長として職場のチームリーダーとして「メンバーのタスク管理や指導」といった仕事をしています。

また、在宅復帰や在宅支援には、（入所前訪問）ご利用者の様子だけではなく、自宅や家族の介護状況などの情報も大切ですので、入所前に相談員と一緒にご自宅に伺うこともあります。退所後も家での生活で困ることがないか、訪問したりすることもあります。

高まる期待・重要度

下鶴

介護福祉士の仕事は、介護の

スペシャリストとしての期待も大きく、介護業界においても重要な位置づけとなっています。勤務形態を少しお聞きしたいのですが、夜勤もあるのでしょうか。

川崎 夜勤勤務はありますが、週1、2回ですね。通常は勤務時間8時間で、月9日間程度はしっかりと休みも取れて家族孝行していますよ。

下鶴 夜勤もあって大変な職場環境ですが、やりがいはあるのでしょうか。

川崎 老健は在宅復帰、在宅支援の施設ですので、やはり、自宅に帰れるように支援できたときはうれしいし、やりがいを感じます。また、老健と自宅を繰り返し利用されている方もたくさんいらっしゃいますので、「また来たよ」と利用者さんに声を掛けられたときなどもうれしいですね。一方、新しく入所される方も多いので、いろいろと新しい出会いがあって楽しいです。

下鶴 苦勞も多いと思いますが、給料に見合っていると思いますか。

川崎 一般論でお答えしますが、勤務先の施設形態やエリアによっても変わってきますが、鹿児島市内の求人サイトなどで見ると

月給（基本給）夜勤を含めると22〜30万円程度、年収にするところ処遇改善を含めてですが、340〜400万円程度が相場となっているみたいです。もちろん、経験を積みば給料もアップしますし、リーダー候補となれば月給（基本給）30万円以上、年収400万円を超える求人も見かけますよ。

鹿児島県の平均年収が、400万ちょっとですので、決して安い数字ではないかと思えます。もちろん、経験や技能にもよりますが、それ以上の年収の方もたくさんいますね。

下鶴 最近特定処遇改善加算もあって介護福祉士の待遇も従来とは変わってきたのではありませんか。

川崎 そうですね。確かに以前に比べて環境は変わってきたように思います。特定処遇改善加算では、最低1人以上、経験・技能のある介護福祉士の賃金を月8万円以上アップさせるか、年収440万円以上にするというルールになっています。具体的には、事業所が処遇改善加算として受け取ったお金を介護職員に処遇改善手当として配分するという流れになります。

下鶴 今年、川崎さんの職場には何

人新人の介護職員が入られましたか。

川崎 私のところには今年4人の新人が入ってきました。内訳としては高卒2人と専門学校卒2人（うち1人は、社会人経験者）です。最初は緊張と戸惑いからこわばった表情でご利用者と接していました。今ではご利用者に顔を覚えられ自然な笑顔が見られるようになってきて、やりがいを感じているようです。

下鶴 学生の中にはコロナの影響で実習が十分できなかったという話を聞いていますが、「学内実習」だけでいきなり現場で働く事に不安があるのでしょうか。その場合、どのようなケアをされていますか。

川崎 私の施設でも、実習がほとんどできなかった学生の入職がありました。レディネスにバラつきがあり、新人の不安が増幅することが危惧されておりましたので、特に今年度、入職者には教育プログラムの丁寧な作成と支援体制の整備、入職後の研修を企画し職場への意向がスムーズにいくように、指導者への教育にも取り組んでいます。また、月に1回、新人同士が顔を合わせる機会をつくり、介護される体験や基本的な実技演習をしています。

働きやすさへ工夫

下鶴 現場でいろいろとケアされてもなかなか適応できない人も出てきます。離職の予防対策はされていますか。

川崎 新人の離職の要因は「職場不適応」が多いようです。私どもはプリセプター制度により公私にわたりサポートしているほか、時期を見ながら、例えば5月連休明け、8月、11月、新人から2年目移行期など、新人が悩みやすいところに個人面談などをこまめに介護主任と教育担当などと相談しながら面談を行っています。

下鶴 そこまでこまめにされていると不安なく働けますね。一方、最近、「働き方改革」という言葉を聞きますが、これについて現在職場で取り組まれていることはありますか。

川崎 コロナ禍をきっかけにして働き方を見直す流れが強まっていますね。育児休暇や介護休暇など制度はどの施設でもしっかりと整備されていて、以前に比べ取得しやすい環境になったと思います。私どももリフレッシュ休暇があり希望に応じて連続した休みを取れます。職場でも職場風土調査を行いながら、時間外勤



対談方式で老健の魅力を紹介する県老人保健施設協会の下鶴毅事務局長（左）と「愛と結の街」の川崎友義介護福祉士長

勤者の白衣を分けたことで互いが勤務時間内に業務終了する姿勢が整い、超過勤務ゼロを達成した取り組みなども報告されています。

川崎

業務の中で記録を後回しにする傾向がありますが、AIなど活用したハード面の整備が充実している施設もあると聞きます。例えば、ケアするたびに記録を音声入力するなどです。これは私も数年前から要望していますが、いよいよできる時代になったのだとても期待しています。但し、設備投資には多額の費用が掛かりますのでスムーズに導入になることが難しい点もあります。

仕事の仕方変化

下鶴

AIですが、職場では介護ロボットやICTの導入でデジタル化が進んでいると聞きます。

川崎

ここ数年で飛躍的に仕事の仕方が変わってきました。移乗は必要に応じてリフトが一般的ですし、パワースーツなどを利用して、パワースーツなどを利用している施設もあるようです。また、パソコンで情報を共有しているのも、医師、看護職員、介護職員、リハビリ職員、支援

相談員、管理栄養士等との連携もしやすくなりました。

下鶴

老健では在宅復帰を目指して、さまざまな職種のスタッフが連携して、入居者の生活支援、健康管理、機能訓練などに取り組んでいます。それだけにお互いのコミュニケーションやチームワークが、介護・看護・機能訓練の質に関わってくるともいえるのではないかと。

川崎

そうです。老健には常勤医師がおり、看護師配置が厚く、理学療法士や作業療法士言語聴覚士などのリハビリ職から管理栄養士やケアマネジャー、施設によつては歯科衛生士も配属されていて医療従事者が多いのが特徴となっています。

下鶴

新人介護福祉士で医療的な部分への対応ができるか不安に思う人もいらつしやると思いますが、どのようなアドバイスが、どのようになっていますか。

川崎

介護福祉士の資格では生活援助が主となりますが、「喀痰吸引等研修」を修了することで、介護職員についても一定の条件の下で、たんの吸引や経管栄養などの特定行為を実施できるようになりました。また、胃ろうや吸引以外にも、時には褥瘡処置などを必要とする利用者など

がいらつしやいます。同じ口腔ケアや排せつケアをするにも困難性が伴う場合もあります。そこで必要なのがチーム医療です。多職種の専門性を生かしながらケアすることが必要となりますので、困ったことはいつでも多職種と利用者のケアについてしっかりと連携をとり、日頃から方向性を同じにしたケアを心がけるということが重要と考えています。

参加者の皆さんの中にも医療面への不安がある方がいるかもしれませんが、そのようなときは相談してください。老健で働いている看護師さんは、やさしい人が多いですよ。

下鶴

1人の入居者に対してさまざまな職種のスタッフが連携協力して在宅復帰に日々取り組んでいくのが老健の姿です。特に老健はリハビリのイメージがありますが、新人の方はリハビリ職との連携には不安はありませんか。

川崎

できることとできないことをしっかりと認識して自分たちの専門性を発揮することがご利用者にとつても重要なことだと思います。

他職種の役割や連携については、学校でも学んでいるとは思

いますが、どこの老健でもその辺りについては、新人研修がありますので、心配しなくても大丈夫です。

下鶴

地域共生社会の実現といった流れのなかで、地域に目を向けることがますます重要になってきました。2018年度の介護報酬改定で老健施設の施設類型が大きく見直され、その要件の1つに「地域貢献活動」が入りましたが、川崎さんの所では、地域の方との関わりはどうですか。

川崎

昨年は、コロナの影響もあり、毎年、地域の方と一緒にやっている「秋祭り」や「花見」など、さまざまなイベントが中止になりました。ただ、私たちの施設があります小原町は、大変、高齢者が多いので、昨年10月に「コロナ予防」の話を町内の方にさせていただきました。

「好きな仕事です」

下鶴

最後になりますが、離職率が高い(15・3%)ともいわれる介護職に20年お勤めの川崎さんですが、何か秘訣があれば。

川崎

そうですね。介護の仕事はきつい大変」と言われたりしますが、正直、楽な仕事はないかと思いますが、自分も29歳までいろいろな仕事をしてきましたが、それぞれの大変さがあります。今でも思うようにいかず「イライラしたり、へこんだり」する事があります。

でも今まで経験してきた中では一番、好きな仕事ですね。辞めたいと思ったことはありません。秘訣かどうか分かりませんが、「仕事を好きになる」という事が大事。介護の仕事の中でやりがいを見つけてほしいです。

下鶴

今日の話を通じて老健と一緒に働きたいと思う人が増えれば幸いです。私もはいつも必要な存在でありつづけるよう日々努力しています。「コロナ禍でも頼りになる老健」をこれからよろしく願います。

主催者側のアンケート結果によれば、「ほとんどの施設が動画やビデオ映像による説明が中心だった中、異色の対談形式であった老健協会の説明は臨場感があつて、しかも現役の介護福祉士の言葉には説得力があつた。」と好評だったとのことでした。

協会だより

令和3年6月～

令和3年度第1回事務長及び事務部会

開催日：令和3年6月22日(火)14:30～16:30
場 所：会場及びZoomによるオンライン会議
テーマ：「老人保健施設における2040年を見据えた事業戦略と事業継続に必要な組織基盤の必要性」
講 師：山下 美貴子 先生
(らしさサポート株式会社 代表取締役)

令和3年度第1回在宅ケア・支援相談部会

開催日：令和3年7月13日(火)14:00～16:00
場 所：医師会館3階中ホール(ハイブリッド方式)
テーマ：「老人保健施設における支援相談員の役割の連携」
講 師：鮫島 寛大 先生
(ケアプランありがとう 取締役本部長)

令和3年度第1回PT・OT・ST部会及び給食部会研修会

開催日：令和3年7月27日(火)14:00～16:00
場 所：医師会館3階中ホール(ハイブリッド方式)
テーマ：「看取り期の摂食嚥下支援について」
講 師：牧野 日和 先生
(愛知学院大学 心身科学部 准教授)

令和3年度福祉人材養成講座(福祉職場就活応援セミナー)

開催日：令和3年8月1日(日)10:00～12:00
場 所：鹿児島サンロイヤルホテル

令和3年度第2回PT・OT・ST部会及び看護介護部会

開催日：令和3年9月3日(金)14:00～16:00
場 所：医師会館3階中ホール(ハイブリッド方式)
テーマ：「認知症の深い理解 - 地域共生社会に向けた取り組み」
講 師：小川 敬之 先生
(京都橘大学 健康科学部作業療法学科)

令和3年度第2回看護介護部会及び事務部会

開催日：令和3年10月13日(水)14:00～16:00
場 所：Zoomによるオンライン配信
テーマ：「介護現場におけるリスクマネジメント(仮題)」
講 師：外岡 潤 先生
(法律事務所おかげさま 弁護士)

(ご参考)

- 第31回全国介護老人保健施設大会 in 宮城 (中止)
- 第32回全国介護老人保健施設協会 in 岐阜(中止)
- 第21回九州ブロック介護老人保健施設大会 in 佐賀(凍結)

(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

研 究 究 め る

よりよい介護をみざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

「その人らしい生活へ向けて共に歩む」 多職種連携にて在宅支援を考える

〈共同研究者〉 介護老人保健施設 アメニティ国分（霧島市） 理学療法士 中村 勇貴
理学療法士 轟木 秀信 看護師 小野 悦子 介護福祉士 岩崎 聡子

【はじめに】

リハビリテーションマネジメント加算（以下リハマネ）の算定要件である定期的なリハビリテーション会議（以下リハ会議）や居宅訪問を通して在宅支援に携わった事で多職種連携の重要性を再識したので報告する。

【症例紹介】

A氏 80歳代後半 男性
要介護2

認知症自立度 II a
障害自立度 A2
奥様との二人暮らし

「病名」脳梗塞後遺症、心房細動、正常圧水頭症、大腸癌術後、右橈骨遠位端骨折

「利用までの経緯」 下肢筋力低下やそれに伴う転倒に対する不安が強くなり外出機会が減少、生活不



家屋改修後の動作確認の様子

活発が顕在化した。リハビリや他者交流を図って欲しいとの意向あり、通所リハビリテーション（以下通所リハ）利用開始となる。

「身体」 左不全麻痺 体幹・下肢筋力低下 疼痛なし 握力 右16 kg 左14・5 kg 左手指巧緻動作低下

「言語」軽度構音障害

「嚥下」問題なし 普通食

「高次脳」注意障害（転換困難）

「認知」HDS-R 19/30点

「基本動作」寝返り・端座位自立 起き上がり・立ち上がり 手すり使用自立 杖歩行・階段昇降見守り

「日常生活動作」食事・整容・排泄自立 更衣（ボタン掛け）・入浴（洗身・背部、足尖部）一部介助

「経過」 利用前の担当者会議で、今後サービスの提供

の方針、住環境等を協議。福祉用具業者を交え、家屋改修の提案を行なった後、必要箇所の改修を実施。家屋改修後、居宅訪問を行い動作確認・指導を行う。

※以下、リハ会議及び居宅訪問時の要約を列記

○リハ会議 1回目

通所リハでの利用時報告と在宅状況の確認を行い、安全に移動が行える事を目標にプログラムを決定。

○リハ会議 2回目

利用開始から転倒なく経過。身辺動作（更衣・ボタン掛け）がスムーズに行えるようにプログラムを設定。個別リハの他、入浴時の更衣練習を追加する。



リハ会議の様子



リハビリの様子



○リハ会議 4回目

本人と奥様より、「バスで買い物に行きたい」との発言あり。バス乗降の訓練として、通所リハスタッフでの階段昇降練習を追加。バス会社に協力を仰ぎ、バス車庫にて

バス乗降動作確認を実施。

○リハ会議 6回目

昇降動作訓練を重ね、歩行・段差昇降が安定してきた為、目標をバス利用での外出に変更。介入プ

ログラムを再考し、より応用的な動作獲得・移動耐久性向上を図る事とした。

○現在の状況

週2回の通所リハを継続し、奥

様との在宅生活が継続できている。自宅でも活動性向上しており、自宅周辺の散歩も再開できている。身辺動作としては更衣（ボタン掛け）動作もおおむね自立できている。

【結果】

通所リハを利用する事により、御本人の機能向上と御家族の介護負担軽減に繋がった。また、御家族参加でのリハ会議を重ねた事で、「夫婦で買い物に行きたい」との希望を引き出す事ができ、御夫婦のモチベーションの向上が図れた。その他、タイムリーな居宅訪問を行う事で、福祉用具導入の検討や自宅での自主訓練指導が行え、在宅生活にスムーズに反映できた。

【考察】

リハマネを利用した多職種での在宅支援は、御利用者の身体機能・動作能力維持向上に有効であると共に、それに関わる各専門職のスキルアップ、質の向上にも繋がると思われる。老健の特色でもある多職種協働の輪に家族をも巻き込み、その人らしい生活が住み慣れた自宅や地域で共に歩めるように支援していくことが重要である。

研 究 する

よりよい介護をみざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

通所リハビリテーションの役割を考えて 生活行為向上への取り組み

介護老人保健施設 ナーシングホームひだまり（鹿屋市） 理学療法士 東山 博明

【背景】

2025年問題に向け、地域包括ケアシステムの一環とし、平成27年度に「活動と参加に焦点を当てたりハビリテーションの推進」が掲げられた。平成30年度の改定で要支援の方にも生活行為向上リハビリを提供できるようになり、取り組みやすくなった。今回、腰痛により入浴動作が困難な要支援の方に対し、動作指導などを行う事で、入浴動作を獲得できたため報告する。

【事例紹介】

氏名：A氏（70代女性）
介護度：要支援2
診断名：胸腰椎圧迫骨折（第12胸椎・第1腰椎）
既往歴：左大腿部転子部骨折・骨粗鬆症
入院期間：平成30年1月11日～平成

成30年4月13日

通所利用開始：平成30年4月18日
～平成30年9月29日

利用日：水・土（週2回）午後3～4時間利用

生活行為の目標（本人）：自宅での入浴が一人で行えるようになる。
家族の希望（夫）：腰の痛みがなくなり、生活出来るようになる。

【実施方法】

- ① 自宅での入浴動作の為の家屋評価を行う。
- ② 通所での訓練メニューを作成し、痛みに合わせた個別訓練と介護職との訓練を行う。
- ③ 自宅での入浴動作の確認を行う（社会適応期月2回）

【訓練内容】

リハビリ

通所訓練期（4月18日～7月13日）



リハビリ（立ち上がり訓練）
浴槽の中に台を置くことを想定



介護職員との訓練
腰部の痛みが出ないように練習

- #1 下肢・体幹筋力強化
- #2 椅子からの立ち上がり
- #3 着衣訓練

社会適応期（7月14日～9月29日）

- #1 入浴道具の使用訓練
- #2 低い椅子（浴槽）からの立ち上がり訓練

介護スタッフ

- 通所訓練期（4月18日～7月13日）
- #1 洗身動作
- #2 横歩き訓練
- #3 歩行訓練
- 社会適応期（7月14日～9月29日）

- #1 跨ぎ動作訓練
- #2 着衣動作訓練
- #3 歩行訓練
- #4 マシン訓練

【評価】

初回評価（4月18日）

筋力MMT4 疼痛NRS腰部5
／10 左股関節3／10 移動TUG
歩行車33・29秒 BI85／100



自助具で滑らない様に拭き取ってから移動する



プログラム終了

(入浴・歩行・階段)

中間評価(7月11日)

筋力MMT4 疼痛NRS腰部4

3/10 左股関節O/10 移動TUG

杖11・29秒 BI95/100(入浴)

最終評価(9月26日)

筋力MMT4 疼痛NRS腰部

3/10 左股関節O/10 移動

TUG杖9・03秒 BI100/

100

①初回評価…通所利用開始時より
疼痛強く、日常生活動作におい

て指導を行う。その上で疼痛の
誘発しない訓練を介護職とともに
に実施し、疼痛緩和を図った。

②中間評価…腰部の疼痛緩和が図
れたことにより浴槽の立ち座り
を想定した訓練へと変更する。
屈曲動作の指導などを念入りに
行い、再骨折が起こらないよう
留意した。

③最終評価…実際の動作を居宅で
行い、床が滑り、転倒の危険性
が高いことが分かった。体幹の
過屈曲にて再骨折の可能性があ

るため自助具を作成しリスク軽
減を図った。

【考察】

平成30年1月から、通所利用開
始までの間に2回圧迫骨折をされ
ており、骨の脆弱性より入浴動作
を医師より制限された利用者様で
す。病院のリハビリスタッフより、
入浴動作が自立になれば、在宅生
活を送れるとあり、生活行為向上
加算取得し指導していく旨を伝え
るも、通所開始までの間に一人で

入浴を行い、圧迫骨折を再度起こ
され疼痛増強した状態で初回利用
開始となりました。

早急に家屋内での動作確認を行
い、疼痛増強する箇所を確認し、
洗身動作全般での捻転動作、体幹
の過屈曲が問題であることがわか
りました。その為介護職とは洗身動作
の方法などの訓練を中心に取り入
れ、リハビリでは、バランス訓練
や筋力増強訓練を行い、動作指導
を反復して行った事により疼痛の
誘発を抑える事が出来たと考えら
れます。通所リハ開始時と社会適
応期に入り月に2回、計7回在宅
での入浴動作の評価を行い、PDC
Aサイクルのつとりプログラム
を状態に合わせて変更し、入浴動
作自立することができました。

通所を卒業してから、在宅での
生活が続ける事が出来、腰痛の出
現も無く一人で入浴出来、友人た
ちともカフェに出かけることがで
きる様になりました。

要支援の方は、要介護の方より、
身体機能が高く介助量が少ない
為、出来ない動作に焦点を絞るや
すく早期に動作の獲得が図れ、目
標達成がしやすいと考えます。

研 究 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

ケアプランの目標の共有

「したい」に取り組んで

介護老人保健施設 サテライトろうけん青空（鹿児島市）

介護支援専門員 前田 さとみ

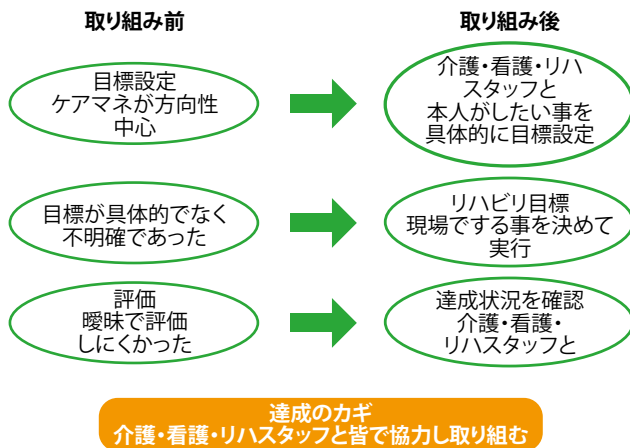
【はじめに】

これまでのケアプランの目標はケアマネが、ご本人とご家族からの情報をもとに目標設定した。それをケアスタッフ、リハビリでは何をするのが連動されておらず、結果目標達成に至らないケースが見られていた。目標を具体的にしてい、各職種でどのようにしたら達成できるか検討し、実行、モニタリングを繰り返し取り組みができるようになってきた。

今後もお一人でも多くの「したい」を実現できるようにしていきたい。

【取り組み前と取り組み後】

達成の力は介護・看護・リハビリスタッフと皆で協力して取り組む事にある。



【取り組みの内容】

① 担当者会議にて共有ケアプランの目標の決定。具体的な目標にする。



家族と一緒に食堂で食事をする

② リハビリ会議でリハビリの目標と取り組みを決め、リハビリスタッフは実際のケア現場に入り評価する。

③ 実行

④ 3ヶ月後の担当者会議でモニタリング、評価を行う。達成状況

【実行】

① 夫婦でパチンコ屋の帰りに食堂に行っていた。またパチンコ屋

の確認とできていない場合の評価を行う。できている場合は次の目標の設定を行う。



居酒屋で大好きな豚足を食べる



山形屋で待望の焼きそばを食べる

近くの食堂に行きたい。との事でご家族と一緒に食堂で食事をしました。

② 豚足が食べたい。豚足が大きい！居酒屋で豚足にかぶりつきました。

③ 山形屋の食堂で焼きそばを食べたい、もちろん地下で、おみやげを買うことも忘れません！

【結果】

ご利用者やご家族からの反応として「ありがとうね嬉しかった」「楽しかったねまた来たいね次はお寿司が食べたいな」「連れて行きたくてもなかなかできません助かりましたありがとうございました」との声が聞かれた。スタッフからの反応は、施設の中でもできることはしていただき、過介護になら

ないようにしないといけないと思った。目標が明確になったことで、リハビリの視点からの歩行状態や姿勢など観察することができた。それを施設での生活や次の取り組みに生かすことが必要と感じている。認知症の方が出かけたことを忘れても、私と出かけたことは覚えてくれていたことがうれしかった、等の感想が聞かれた。

【今後の課題】

一部の利用者しか目標の共有がされていない。一時的なプレゼント、レクリエーションと言う感じがある。目標を継続するため日々の取り組みが弱い部分もある。リハビリの視点からの目標と、具体的な実施内容を、他職種にも解りやすく提示する工夫が要である。またご家族と一緒に取り組む。

【まとめ】

ケアプランの目標を共有し、実行する流れを作り、ご利用者を中心にその方らしい生活ができるように各職種が協力して取り組んできた。結果介護スタッフ、リハビリスタッフもケアの根拠がわかり、今後継続して行く為にはどうしたらいいか課題も一緒に考え、工夫することも増えてきた。ご利用者の「したい事」を実行するためには、まずご利用者に関心を持ち、耳を傾けることが大切である。お一人でも多く、まずは一緒に取り組み、「したい」ができた時の喜びを直に感じることを増やし続けて行きたい。

令和3年度 研修会

第1回在宅ケア・支援相談部会研修会

日 時：令和3年7月13日（火） 14：00～16：00（質疑応答含む）

会 場：鹿児島県医師会館3階中央ホール（ハイブリッド方式）

参加者：3名（会場）・73名（Zoomによる参加）

テーマ

『介護保健施設における支援相談員の役割と連携』

講 師：鮫島 寛大 先生（株式会社PRO 取締役本部長）

○本日の研修会についての意見・感想ほか

- ・支援相談員部会の研修会は数少ない中で開催して頂きありがとうございました。
- ・現状と今後の動向を捉えた研修内容でとても勉強になりました。
- ・講師は気さくな方でお話を聞きやすかった。
- ・数年前の超強化型老健の割合と現状の3割という推移に加算算定が包括化していくことが遠くないことを納得させられた。
- ・超強化型老健が鹿児島に多いことがわかりました。
- ・稼働率が93.3%では黒字、88.7%では赤字であり、95%以上の稼働率を目標にする。利用率の低下は経営に直結する、コロナが発生しクラスターが出ると経営が悪化するということを改めて痛感した。
- ・入退所調整を行う支援相談員が利用率調整の役目がのしかかっており、支援相談員は経営から入所ケア品質の維持など仕事が多岐にわたると思った。
- ・介護支援専門員はプラン作成するが支援相談員との関わりや役割分担はどうなっているのでしょうか。
- ・相談員が1施設当たり2.43名とのことでしたが、支援相談員のみの数で言えば当事業所は不足しているといえるのでしょうか。
- ・支援相談員が多く業務があるので効率化が課題であると思いました。
- ・日々介護施設の動向が変わる中で新しい情報の提供有難うございました。

○今後の研修会で取り上げてほしいテーマ

- ・多職種共同について
- ・支援相談員と施設ケアマネの役割について
- ・仕事力アップについて（科学的介護とは）
- ・多職種連携や自事業所の強みを共通認識としていくうえで重要なことや継続する秘訣
- ・ご家族様や医療機関から見る支援相談員

○今後の研修会で取り上げてほしい講師の先生

- ・株式会社フジケア 社長 白木裕子氏
- ・接遇・マナー講師
- ・経営コンサルタント

今回の研修では、講師の鮫島先生を種子島からお招きし、ご講演頂きました。施設における支援相談員の役割が多岐にわたり、入所ケアプラン作成などのサービス品質維持や利用率調整と大役を背負っていること、中でも利用率に関しては経営と直結している為、如何に支援相談員が施設

にとって重要な役割を持っているかを、近年の介護施設を取り巻く状況を踏まえながらわかりやすく講演頂き大変勉強になりました。一部音声や映像の乱れがありまして、Zoom 参加された方々には大変ご迷惑をお掛けしまして申し訳ございませんでした。最後になりますが、講演を快諾して頂きました鯨島先生、老健協会の下鶴様、櫻木様、ありがとうございました。

昨今の鹿児島県を取り巻くコロナウイルスの状況は刻々と変化しており、皆様大変と存じますがコロナに負けないよう頑張ってください！

(介護老人保健施設 指宿温泉ケアサポート 事務長 有田 健司)

第1回PT・OT・ST、給食部会(合同)研修会

日 時：令和3年7月27日（火）14：00～16：00

会 場：鹿児島県医師会館3階中ホール(ハイブリッド方式)

参加者：会場3名 Web上73名（29施設）YouTube視聴86名

テーマ

「看取り期の摂食嚥下支援について」

講 師：牧野 日和 先生（愛知学院大学 心身科学部）

今回も現地開催とZoom開催併用のハイブリッド方式にて研修会を開催させて頂きました。大変たくさんの方々に参加頂きありがとうございました。

頂きましたアンケートの集計をさせて頂きましたので、ご報告させて頂きます。

【アンケート結果】

1、評価

非常に良かった 2 ・ 良かった 7 ・ 未回答 1

2、本日の研修会についての意見・感想ほか

- ・老健での看取りが増えている状況で、STとして行えるリハビリ、支援サービスを考える良い機会となりました。死に直面する寸前のお客様や支えるご家族がいかに安寧な日々を送るか、多職種を含めACPを行ったり、日頃の状況観察、コミュニケーションがとても重要だと改めて感じました。
- ・「対象者を癒しながら支援を行う」ことが1番心に残りました。今回の研修会をきっかけに改めて普段の食事について考える機会となりました。家族と関わることが多くはないですが、利用者様の家族の方が後悔の残らないよう話し合っていくことが重要と感じました。
- ・今現在までSTとして患者様と関わってきて、ターミナルの癌や重度認知症、意識障害等、経口摂取をすすめるべきか、食支援を中止すべきか考えることが多くありました。今回の講演を聴講して、家族との話し合い、ACP、患者本人とナラティブの視点を持った会話が、その解決の糸口であることに改めて感じさせられました。将来多死社会を迎える上で、ACPを行い、本人・残される人が悔いのないような看取り支援を行う事が大切だと感じました。
- ・食べられなくなることが自然なこと。ということに改めて認識することができ、良かったです。（食べられるように！と思いがちだったので）
- ・経口摂取の可否だけに気を取られてはいけません。食べているor食べさせられている、食べることが苦痛であったり拷問の場になっていないか、など日々食事介助をする上で考えさせられました。食べることに固執しない最後も選択の一つ。帰納的評価をしながら見極める。当施設でも当てはまる方がいると思った。家族への説明を早急に行うべきだと感じた。
- ・利用者様の意思を尊重するには、日頃からのコミュニケーションやご家族を含めての話し合いといけなと感じました。当たり前口から好きなものを食べることが最後になったときにどれ

だけ大切か考えることができました。

- ・牧野先生の実体験をもとにしたお話がとてもわかりやすかったです。どのように支援したら、「最後に自分の人生はいい人生だったな」と感じていただけるのかということを考えていきたいです。
- ・実際の看取りの食形態、嚥下の様子についても詳しく知りたいと思いました。今回の貴重なお話を活かしご家族とのコミュニケーションを図り、入所者様が最後に「いい人生だった」ご家族に「悔いのない看取りだった」と思ってもらえるよう支援していきたいと思います。
- ・エビデンスとナラティブ、配分の差はあっても両方の視点で対象者を見ることの重要性を改めて感じました。心理学的な観点を中心とした内容の研修は受講する機会があまりないため、とても勉強になりました。
- ・看取り期の食事は本人にとって食事摂取が苦痛でないように配慮できるようこまめな観察が必要だと思った。食べたいもの、食べられるもの、これまでの入所者の人生を振り返り集大成となる食べ物を提供できるようにしたいと考えさせられた。

3、今後の研修会で取り上げてほしいテーマ

- ・リハビリと栄養について
- ・老健におけるNST
- ・ベッドサイドの方の経口摂取を継続して行えるための支援または改善方法等
- ・嚥下状態に対する、トロミ・ゲル化剤使用について
- ・口腔機能改善の方法
- ・倫理 ・補助食品
- ・回復期、それ以降の食支援について
- ・認知症による食欲不振への対応

4、今後の研修会で取り上げてほしい講師

- ・藤島 一郎先生
- ・NPO 口から食べる幸せを守る会 理事長 小山 珠美先生

今回、愛知より牧野先生にお越しいただきご講演して頂きました。看取り期という最後の時に、何が大切なのか考える良い機会を頂きました。大変貴重な講演の機会を頂けた事に感謝申し上げます。

また研修に参加して頂いた方々、企画・運営に携わって下さった方々、ありがとうございました。

(PT・OT・ST、給食部会合同 ケアセンターやごろう苑 作業療法士 山内貴人
ろうけん始良 管理栄養士 藤田洋子)



こぼれおちた

ものもの

29

三角 みづ紀



駅前にあるホテルの一室でチェックアウトの準備をしていたら、携帯電話が振動している音をたてた。電話がかかってくるかと思いきや、慌ててショルダーバッグをあさったら、電話ではなく汽笛が鳴ったのだと気づいた。すぐ近くにフェリー乗り場があるのだ。

初夏の稚内に滞在していた。南で生まれ育ち、北へ憧れているわたしが、はじめて日本のてっぺんを訪れた。日本海とオホーツク海が混じりあったところに宗谷海峡があり、視界がひらけている。強い風が岬に吹いていて、まだ冬が残っているみたいだ。そういえばレンタカーの営業所は、暖房をつけていた。もう七月なのに。

最北端の文字であふれ、鹿が何食わぬ顔で駅前を歩いている町。はまなすが咲き、人通りは少なく、大きなかもめが舞う町。それが稚内だった。曇り空のもと、霧がたちこめる。

果ての地の向こう



わたしは都合良く、この場所を神格化していたようだ。最北端という響き。晴れていたから遠くにサハリンが眺められるはず。国境ゆえに、ロシア語も記載した標識がある。

皆が切望する幻想的なイメージを抱いていたが、そこはただ、果てだった。果てというものは徐々に終わっていくのではない。ここ

に暮らすひとびとの生活があり、境界線としての海が存在する。土地の日常が続いていて、海によって唐突に途切れるのだ。

想像とはちがったけれど知ることができて良かったと心から感じた。最北端の印象は一変する。どこも同じで、どこも異なる。稚内は懐かしきをおぼえる魅力的な町のひとつだ。

巨大な風車が立ち並び、回転している。宗谷丘陵では牛たちがのどかに息を吐いて、じゅうぶんに成長したら人間が食するために出荷される。真夏でも気温は二十度くらいで、わたしの住む札幌よりもずいぶん寒い。でも、あらゆる土地とひとしく、ひとびとは日々を営んでいる。

サロベツ湿原にも行った。鬱蒼と生い茂る緑のなかで、キスゲの黄色が主張している。木製の板が道になっていて、散策していたらるか向こうに雲をまとった利尻島が見えた。だいたいな映画である黒澤明監督の「夢」を思いだす。こういった風景は本当に存在している。

自然の豊かさに惹かれる。しかし、わたしはやっぱちよつときびれた中心地のほうに興味がある。ひとびとが町をつくり、暮らしている。そして、北へ憧れる旅人の

目的地でもある。

「きみの場所」

至るところで賑やかにつねに命が響いていてまっすぐ歩きつづけた辿り着いたと思ったらあらたに向かっているどこにいたってきみの立つ所が世界の中心だ

しばらくぶりに飛行機で移動したのもあり、海外へ行ったかのような気分になって、帰宅の途につく。小さな飛行機はほとんど満席で、これから帰るひとたちなのか、向かうひとたちなのかはわからない。

朝焼けも夕焼けも目撃できなかったのは残念だったが、取材のための訪問だったので、さまざま出会いがあり嬉しかった。自分勝手な幻想が崩れたのも嬉しい。果ての地は果てであり、眩しい。けれどもたしかに、かつてのどれかの歩みにより成り立っていて、いまのどれかの日常の只中なのだった。

三角みづ紀（みすみ・みづき） 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回平成26年度 萩原朔太郎賞受賞。

ぶらぶらが素敵 かごしま

vol.5

東川隆太郎

NPO法人まちづくり地域フォーラム・
かごしま探検の会代表理事



清水城の遠望



清水麓

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

多い名所・旧跡に驚き 霧島市域にあった清水村

昭和29年4月まで、現在の霧島市の市域に清水（きよみず）村があった。国分町と合併することで消滅してしまった村であるが、霧島市中心市街地に隣接する地域がその村域で、かつての清水村の名残にとどまらず、歴史を伝えてくれる名所・旧跡の多さに驚かされる。今回は、霧島市のなかの旧清水村にスポットを当てて、地域をご紹介します。

旧清水村は、江戸時代までは清水郷と呼ばれる薩摩藩の直轄領のひとつであった。清水郷には、弟子丸村・郡田村・山之路村・川原村・姫城村が属し、石高としては正徳3（1713）年で5715石であった。郷を統括する地頭仮屋は、戦国期に隆盛を誇った清水城の麓にあり、現在は民家となっている。

戦国時代^{さかのほ}に遡ると、清水城は島津家第15代当主・貴久の弟、忠将が入城した時期もあり、天文23（1554）年の岩剣城（現在の始良市）の戦いには、ここから出陣している。ただ、忠将は永禄4（1561）年7月の廻城（現在の霧島市福山町）の戦いで戦死し、清水城近くにあった曹洞宗の楞嚴寺に葬られた。その寺院は明治2年の



天御中主神社



島津忠将墓跡



青葉の笛竹



櫻庵寺跡



日枝神社



台明寺跡



高座神社

廃仏毀釈によって廃寺となり、現在は墓地のみが当時を偲ばせてくれる。しかも、忠将の墓は昭和20年4月26日のアメリカ軍の空襲によって破壊され、これも現存していない。

旧清水村には由緒のある神社も多く点在している。山之路にある日枝神社は、江戸時代まで台明寺という巨大な寺院の一部であった。天智天皇の頃に朝廷に献上された青葉の笛竹の材料を産出したとの言い伝えもあり、境内にはそのことを伝えるように竹林がある。また参道には島津家初代の忠久がお手植したと伝わる巨杉もあるなど、美しい森林に囲まれた厳かな雰囲気である。毛梨野にある高座神社は、境内周辺の木々が県指定文化財になっている。樹齢800年以上のナギや樹齢300年以上のイチイガシなどが社殿近くにそびえる光景は圧巻である。清水郷の総鎮守は天御中主神社で、地元では「北辰さあ」と呼び親しまれている。神社近くの泉には水神が祭られていて、その泉が「清水」の名前の由来になったとされている。

清水城の周辺には麓と呼ばれる武家屋敷群も町割とともに残っている。まだまだご紹介したい名所・旧跡がたくさんあるので、ぜひ訪れて欲しい。

(ひがしかわ・りゅうたろう) 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を行っている。

老健協会では深刻な介護人材不足の一助になればと地域住民や学生等に対する介護への理解促進事業に取り組んでいます。

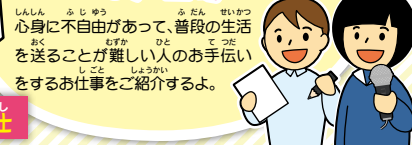
この事業の一環として、将来の介護の担い手となる子供たちに対して介護の仕事の理解を深めてもらうために、4コマ漫画で、わかりやすく説明したチラシを作成しています。お近くの小中学校やお祭り会場等でチラシが配布可能な場合、老健協会までご相談ください。

介護のお仕事を知ろう！

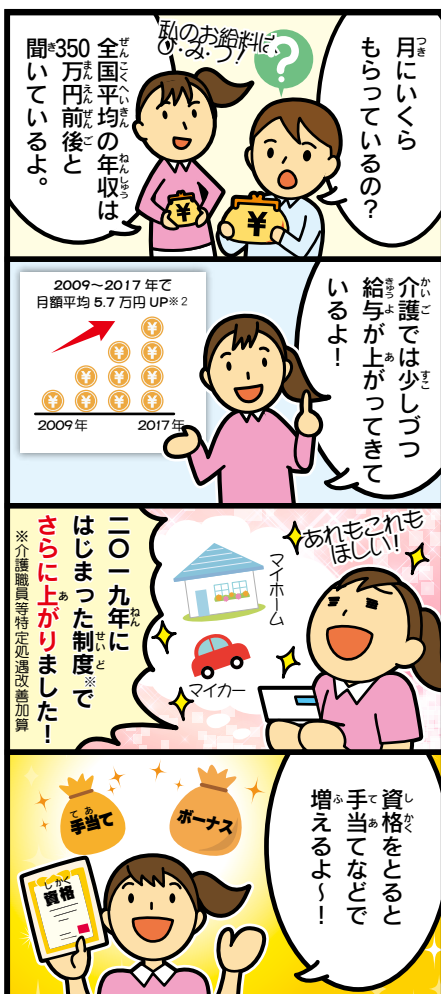
介護職のはてな？



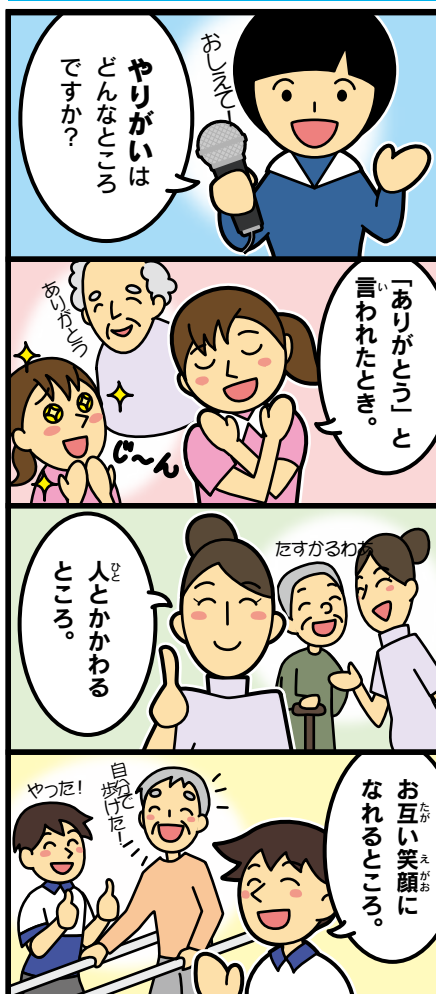
介護福祉士の
お仕事きてみた！



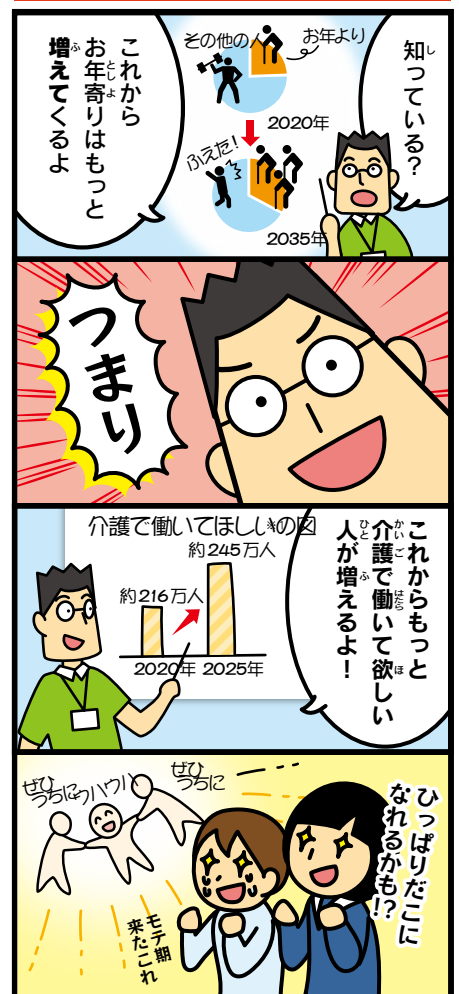
お給料 おきゅうりょう



やりがい



将来性 しょうらいせい



※2 厚生労働省 平成31年2月25日社会保障審議会介護保険部会(第75回)資料3より加工

※1 厚生労働省 平成31年2月25日社会保障審議会介護保険部会(第75回)資料3より加工

老健に入るためのご案内

1つの事例

入院中の父を入所させたい

【質問】

70歳の父が脳梗塞で入院中です。病院での治療を終え、要介護2の認定を受けました。歩行が不安定なので、いったん老人保健施設に入所し、リハビリを受けたいと考えています。老人保健施設へ入所するにはどのような流れでしょうか。

【お答え】

介護老人保健施設（以下老健）は、病状が安定して、病院での治療よりも、看護や介護に重点をおいたお世話を必要とされる高齢者を対象とした施設で、高齢者の心身の自立を支援し、親しみやすい環境の中で、家庭生活への復帰を応援します。入所の利用対象者は要介護1～5の認定を受けられた方です。

以上のことから、このケースは老

健の入所対象になると考えられます。施設入所までの流れは次をご参照下さい。

まず施設を探す

現在、鹿児島県内には78の老健があり、各地に点在しています。これらの老健については、役場の介護保険窓口で紹介してもらうことができます。他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や本誌巻末でも連絡先を知ることができますので、近くにどんな老健があるのか探してみして下さい。

気軽に相談を

施設が見つかったら相談してみましょう。老健には必ず「支援相談員」がおり、入所等の相談に応じていますので、相談時には支援相談員を尋ねてみて下さい。相談の形は電話でも直接足を運んで

もかまいません。

施設からは利用者ご本人とご家族について、また要介護度や連絡先などを確認させていただき、それに併せて施設の説明を行いますので、料金や待機状況など不明な点は何でも気軽に聞いて下さい。要介護認定を受けていない場合でも、申請の仕方などケースに応じた説明を行いますのでご心配いりません。

入所待機の申し込み

相談の後、利用者側が入所を希望され、施設側も受け入れ可能と判断しましたら、入所待機の申し込みを行い、一旦待機に入ってください。申し込み方法や待機状況は様々で、施設によっては電話での入所申し込みが可能なお所もあります。ですが、老健についてより知っていただくためにも、時間をみつけて1度施設を見学される事をおすすめします。

待機中は

入所日が決定するまでの間に、利用者の状態の変化や、他施設への入所決定等があり、待機の必要がなくなれた場合には、待機中の施設へ連絡をいただくと助かります。

入所までの大まかな流れは、上記のようになります。また、ホームページも参考にしてみてください。

老健への入所の大まかな流れ

利用者・家族

施設探し

※老健の連絡先については、市町村役場介護保険窓口で紹介してもらうことができる他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や、本誌巻末でも連絡先を知ることができます。

電話相談

※老健には必ず「支援相談員」がおり、入所等の相談に応じていますので、相談時は支援相談員を尋ねてみて下さい。

施設見学・相談

施設の説明に併せて
・利用者の状態
・要介護度（未申請の場合はお知らせください）
・連絡先 などお尋ねします。

利用者側の入所希望+施設側の受け入れ可能判断

入所(待機)申し込み

※申し込み方法・待機状況は施設毎に異なります。施設によっては電話で入所申し込み可能な施設もありますので、気軽にお尋ねください。しかし、老健についてより知っていただくためにも、一度施設を見学されることをおすすめします。

入所



ろうけん広場

ユニーク自販機続々

新型コロナ下で対面接触がない新たな販売方法として、自動販売機が注目を集めています。鹿児島県内で続々登場している変わり種の自販機を探してみました。

焼き芋



糖度の高さと定評の「紅はるか」の温かい芋と冷たい芋を楽しめる。1缶190円で500円。収益の一部は障害者の就労に役立てる＝鹿児島市武1丁目

卵



「24時間365日 農場直販」を掲げ、毎朝直送の卵が買える。ロッカー型自販機が並ぶ無人店舗は清潔感たっぷり＝鹿児島市中山町

生パスタ



かわいい小屋が目をひく。もちもちとプリプリの打ち立てパスタがある＝鹿児島市春山町



昆虫食

コオロギ、バッタ、イナゴなどが袋詰めになっている。「今月の限定商品」もあり、8月に訪れた時はセミだった。1袋千円。人気で製造が追いつかないそう＝霧島市国分野口西



車エビ

冷凍自販機で車エビの「生きじめ」と「みそ漬け」の2種類＝薩摩川内市中華郷3丁目

鳥刺し



生の鳥刺しが陳列棚にズラリ。試しに買った「黒さつま鶏」(150円で500円)は、新鮮でだいたいやめにピッタシ。24時間営業なのでおつまみが切れても大丈夫？＝南九州市川辺町清水





かごしまの食卓

秋編

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。
「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。
2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。南日本新聞で企画「かごしま食歳時記」を21年1月1日から連載中



里芋の甘辛煮

鹿児島では、里芋はさつまいもより早くから食べられてきた作物です。十五夜のお供えや元日の雑煮、精進料理、煮しめに欠かせません。赤芽と白芽に分かれますが、赤芽はきめ細やかでホックリとし、白芽は粘りがあり煮崩れしにくいなどの特徴があります。

レシピ

4人分

- 里芋400g
- 片栗粉 適宜
- 油 適宜
- タレ
- 濃い口しょうゆ 大さじ2
- 本みりん 大さじ1
- 砂糖 大さじ1
- 水 大さじ1
- 白ゴマ 大さじ1
- ゆずの皮(あれば) 適宜

- ① 里芋は皮付きのまま蒸し、竹串がすっと通るくらいになったら皮をむく。好みの大きさに切り、片栗粉を丁寧にまぶす。
- ② タレの材料を全部合わせ、砂糖が溶けるまで火にかける。
- ③ ①を170度の油で1、2分揚げ。②のタレに絡め、白ゴマをまぶし、器に盛り、せん切りにしたゆずの皮を散らす。

サトイモの皮をむくと手がかゆくなりますが、これは里芋にシュウ酸カルシウムの結晶がまぶされているためです。手のかゆみを防ぐには、手袋を用いるか、手に塩か酢水をつけるといいですよ。



しめさば

鹿児島では、サバは、刺し身、しめさば、揚げ物、煮物とよく食卓に登場します。鹿児島近海で多く取れ、生のものは「ぶえん」といってごちそうでした。秋から冬が旬で、新鮮なもののほどとろけるようにおいしく、さらに酢でしめるとうま味が凝縮されます。

レシピ

4人分

- 新鮮なサバ 1尾
- 塩 適宜
- 合わせ酢 (酢250cc、砂糖大さじ1)
- だし昆布 30g
- 大根、シソの葉、生しょうが、小ねぎ 適宜

新鮮で脂の乗ったサバを選ぶには、サバの目が透き通っているか、おなかだけでなくしっぽの方までしっかりと厚みがあるかを見るとうい。

- ① サバを3枚におろし、両面にたっぷり塩をまぶし、30分～1時間冷蔵庫でねかせ。
- ② ①を洗って塩を落とし、合わせ酢に漬け、だし昆布をのせて、冷蔵庫で1時間以上冷やす。
- ③ 骨抜きで骨を抜き、頭の方から皮をむく。5mm厚さに切る。せん切りの大根、シソの葉、生しょうがのすりおろし、小口切りした小ねぎを添え、器に盛る。



介護用品 あれこれ

推奨福祉用具のご紹介

～「快適に座れる車いす」のご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 湯脇 稔

はじめに

「たかが車いす、されど車いす」という言葉がありますように、歩くことが困難になった方々にとって車いすは自分の足代わりであり、生活に欠かすことができない道具です。

今回は、ご利用者にとって快適で、介助される方々にとっては、誤操作が少なく、扱いが容易な車いす 2 機種を紹介させていただきます。

「モデラート」

「モデラート」はランダルコーポレーションが発売しているリクライニング機能付き車いすです。最大の特徴として、リクライニング車いすの弱点である「前方へのズレ対策」の「オートレスト機構」が装備されていることです。このオートレスト機構によりご利用者が快適に過ごせるだけでなく、介助者にとってはティルト・リクライニング車いすのような手間がかからず、誰が操作してもズレの少ないリクライニング操作が軽い力で可能です。

また、可動範囲の広いリクライニング機構や、肌触りの良いシート素材などを装備していることから、食事場面から休息まで様々な生活場面で快適に過ごすことが可能です。

好評のオートレスト機構

これまでのフルリクライニング車椅子とモデラートの大きな違いは、オートレスト機構です。

バックレストが倒れるのに応じて座面も傾く（チルトする）機構で、人間工学に基づき考案され、実現したものです。

このオートレスト機構を採用したことで、バックレストを大きく後方に倒しても、お尻（座骨）が前方に滑り出すことがなく、着ている服が背中ですれることもありません。

どんなに良い姿勢でも長時間同じ姿勢では疲れてきます。食事の姿勢とテレビを見たり談笑したりするときの姿勢は少し異なりますが、一本のレバー操作だけで生活の場面に最もふさわしい座位姿勢を簡単に実現できます。疲れたらバックサポートを十分に倒してリラックスできます。



「座王Xティルトタイプ」

「座王Xティルトタイプ」は日進医療器が製造・発売している姿勢調整式多機能型車いすです。最大の特徴として、調整する人の技量により姿勢が左右される背中の張り調整を伸縮式ベルトによって自動で行ってくれる「オートフィット 3D バックサポート機構」が装備されていることです。このオートフィット 3D バックサポート機構により、体格の違いや背中の形状の違いに関わらず快適に座ることができます。

また、ティルトタイプでは、前方へのズレを防ぐ座面角度調整機構、頭頸部の不安定な方の姿勢調整に不可欠なマルチタイプのヘッドサポートが標準装備されています。

介助者にとっては、移乗場面に便利で操作性に優れるアームサポート跳ね上げ機構、レッグサポート開閉・脱着機構、空気補充不要なノーパンクタイヤなども標準装備されています。

NISSIN エックス
座王X
Z A O U

本当にリラックスできると、気持ちがとてもおだやかになる。

身体の形状に合わせて、シートが自然にカタチをかえ、

やさしく、しっかりと理想的な姿勢で支えてくれる。

肩のきゅうくつさがなく、胸が開く姿勢は、深呼吸しても気持ちがいい。

身体が前後にも左右にもずれず、腰部にも圧迫感がない。

包み込まれるような、安心して体の力を抜ける姿勢。

それはとてもうれしい座り心地。座ってすぐにわかる、気持ちよさ。



おわりに

今回は「快適に座れる車いす」2機種を紹介させていただきました。介護ロボットやノーリフティングケアなどの浸透により、より安全に楽に車いすや椅子などに移乗できるようになってきました。しかし、その先の長い時間を過ごす場所での環境整備は重要だと思います。

2015.4月号の「福祉用具を安全に使うために 車いす編」で述べさせていただいたように、車いすの不良座位は褥瘡や拘縮、誤嚥や呼吸機能低下など、様々な悪影響が懸念されます。

今回紹介した車いすは、着座時に正しい位置に座っていただくことで、長時間・安全・快適に座ることができる車いすです。

*写真及び本文、ランダルコーポレーション、日進医療器カタログより一部引用

あなたの地域の介護老人保健施設 78カ所



⑦ろうけん始良

〒899-5652 始良市平松5062
☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院
居宅介護支援事業所ろうけん始良
訪問介護事業所ろうけん始良



⑧青雲荘

〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255

青雲会病院
居宅介護支援事業所青雲



⑨アメニティ国分

〒899-4301 霧島市国分重久361-1
☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515

鵜木医院(指定介護療養型医療施設)
うのきデイサービス(認知症専用)
ヘルパーステーションアメニティ国分

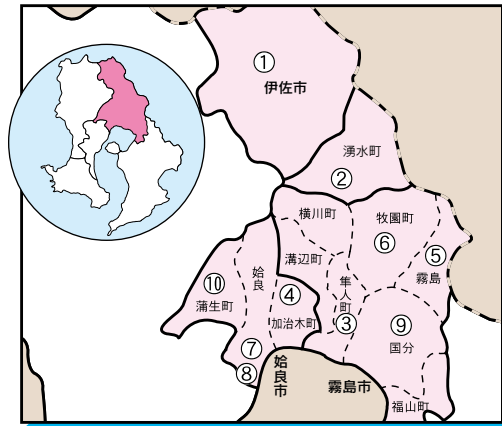


⑩ろうけん大楠

〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぼほ」
ろうけん大楠居宅介護支援事業所
大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区



①はやひと

〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院
ことぶき園(特別養護老人ホーム)
グリーンハイツ周山(ケアハウス)



②寿芳苑

〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504

あいらの森ホスピタル
グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
グループホーム愛の里



③希望の里

〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院(療養型病床あり)
訪問看護ステーション姫城
グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木

〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院
加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
龍門の里(軽費老人ホームA型)



⑤きりしま

〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415

霧島杉安病院
訪問看護ステーションあんしん
グループホームゆめ

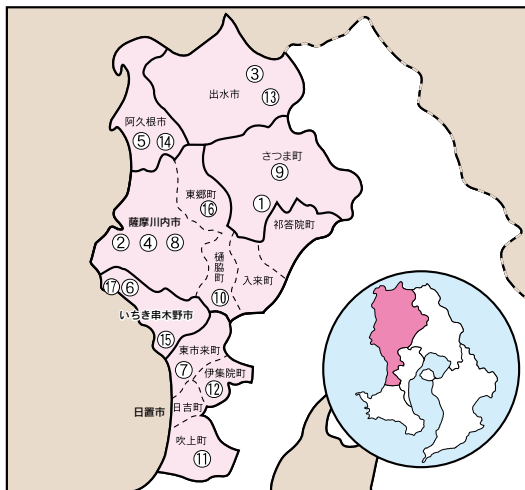


⑥サンライトホーム

〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院
霧島青葉園(身体障害者療護施設)
霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区



①クオリエ

〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134

クオリアリハビリテーション病院
訪問看護・リハクオラU
グループホームアリエ



②あじさい苑

〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
きららクリニック
グループホームそら



⑫アンダンテ伊集院
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院
ケアセンターリエゾン日置
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)



⑬ラ・フォンテいずみ
〒899-0214 出水市五万石町281
☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもそのクリニック
ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ
〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院
グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき
〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院
吹上園・市来松寿園
市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム
〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧淵8920番地
☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院
グレースホーム訪問看護ステーション
グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜
〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)
グループホームもぜ

鹿児島地区



①城山老健
〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院
ケアハウス出合い坂
居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出合い坂



②スイートケアなかよし
〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
☎099-223-3390 FAX 099-222-6541

玉水会病院
いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム
〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院
居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
デイサービスセンター ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ
〒899-0217 出水市平和町336-1
☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井中央病院
ユニット型老健グランアージュ
鶴寿園(特別養護老人ホーム)



④長生園ナーシングセンター
〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院
在宅介護支援センター 長生園
グループホーム 自立の家



⑤回生苑
〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院
阿久根市在宅介護支援センター
桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



⑥さるびあ苑
〒896-0002 いちき串木野市春日町63
☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科
串木野市在宅介護支援センター
慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

ゆのもと記念病院
グループホーム あったかハウス
訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内
〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)
薩摩川内市在宅介護支援センター
薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



⑨パラディーノはたるの里
〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院
鶴田町在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所 パラディーノはたるの里



⑩グラン・ペリテわき
〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600

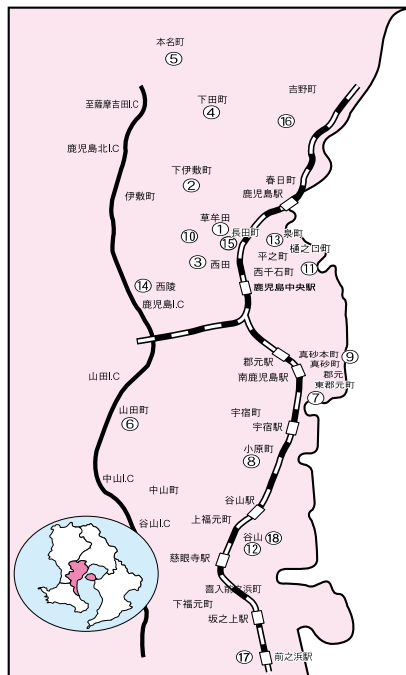
市比野記念病院
翠泉苑(特別養護老人ホーム)
指月苑(養護老人ホーム)



⑪湯の浦ナーシングホーム
〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院
居宅介護支援事業所
(湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 78カ所



⑬あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)

⑭ナーシングホーム田上苑

〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

田上記念病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセル天保山(介護付有料老人ホーム)

⑮ナーシングホーム城山の森

〒892-0854 鹿児島市長田町223
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山苑

⑯ろうけん青空

〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
☎099-243-4330 FAX 099-243-5599

内村川上内科
グループホーム帯迫&ひばり
小規模多機能ホームひばり

⑰サンシャインきいれ

〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜

⑱光徳苑

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093

④さくらんぼ

〒892-0873 鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ

⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304 鹿児島市本名町472
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

吉田温泉病院居宅介護支援事業所
ヘルパステーション ゆうばえ
訪問介護ステーション 夕映え

⑥フレンドホーム

〒891-0104 鹿児島市山田町450
☎099-260-6000 FAX 099-275-1309

Tsukasa Health Care Hospital

⑦鴨池慈風苑

〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑

⑧愛と結の街

〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院

⑨ひまわり

〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)

⑩まろにえ

〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所

⑪西千石

〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパステーション西千石

⑫フェニックス

〒891-0141 鹿児島市谷山中央1-4021-1
☎099-268-3636 FAX 099-268-2722

とまり泌尿器科



⑦おさしお

〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501

グループホームきらら
長崎内科
陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン

〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802

平和台病院
介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑

〒891-2124 垂水市錦江町1-140
☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280

垂水市立医療センター、垂水中央病院
垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ

〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1
☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105

肝属郡医師会立病院
居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた

〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201

はるびゅうクリニック
訪問看護ステーションふるる
居宅介護支援事業所サンセリテのがた



⑫ありあけ苑

〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
☎099-477-2331 FAX 099-477-2335

曾於医師会立訪問看護ステーション
曾於医師会立居宅介護支援事業所

⑬介護医療院とうご(旧 老健とうご)

〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-11-12
☎099-472-1236 FAX 099-472-4640

藤後クリニック(有床診)
志布志訪問看護ステーション
橋友会介護支援センター



⑭絆

〒891-2104 垂水市田神3536番地1
☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163

池田温泉クリニック
グループホームひまわり苑
小規模多機能ホームひまわりの里

南 薩 地 区



①指宿温泉菜の花苑

〒891-0402 指宿市十町418-1
☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239

今林整形外科病院
明正会介護支援ネットワーク菜の花
(居宅介護支援事業所)

曾於・肝属地区



①高原ナーシングホーム

〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530

高原病院
末吉町在宅介護支援センター
末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり

〒893-0024 鹿屋市下祇川町1853
☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727

池田病院
鹿屋長寿園(特別養護老人ホーム)
デイサービスセンター鹿屋長寿園



③ケアセンターやごろう苑

〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964

昭南病院
大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑

〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160

春陽会中央病院
高山町在宅介護支援センター
訪問看護ステーションたんぽぽ



⑤ヴィラかのや

〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226

恒心会おぐら病院
居宅介護支援事業所ヴィラかのや
訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき

〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
☎099-472-5666 FAX 099-473-3494

病院芳春苑(精神科)
ケアハウスぬくもり
グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



①わらび苑

〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601

社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑

〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650

福山医院



③虹の丘

〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800

虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑

〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012

龍美クリニック



⑤せとうち

〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913

奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー

〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099

朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



⑦サザンコート

〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093

医療法人南溟会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



⑧秋名の郷

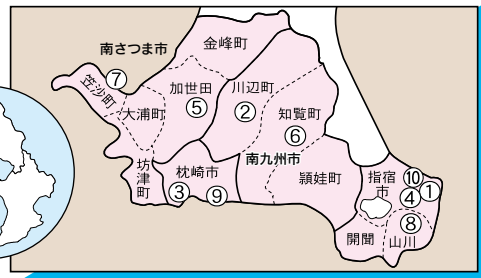
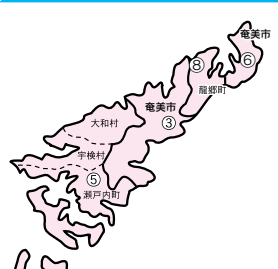
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110

秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園

〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑

〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331

菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神

〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265

小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園

〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912

指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



⑤ラポール吉井

〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788

アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム なでしこ



⑥シルバーライフちらん

〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096

ちらんクリニック



⑦さつま野菊園

〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950

大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



⑧ヴァンベールみどりの風

〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522

指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター

〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233

サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)



⑩指宿温泉ケアサポート

〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393

医療法人聖仁会

祝迫 正豊

コロナ禍で1年延期となった東京オリンピック、パラリンピックが開催された。試合後の選手のインタビューは競技ができた喜び、周囲への感謝があふれて、私たちもたくさんの感動をもらった。

スポーツに限らず、イベントの開催が困難な日々が続いている。昨年秋中止になった東京会場の二科展は、今年9月初旬、東京国立新美術館で開かれた。競技者や演技者と同様、作品が完成するまでモチベーションを保つのは難しい。一方で1年の延期が良かったという出品者、知人もいた。

作品を仕上げるまでの時間はそれぞれ異なる。数年前の落書きが下絵になり、今年の出展作品になることもある。公募展は作品内容で競う場である。「描く、創る」の想いもそれぞれに異なる。個人の理想とする座標も大事、モチーフや色彩で独自の個性を発揮する。私には制作に対する姿勢を学んだり刺激を受ける良きライバルが必要だ。

今年の作品は「時の狩人」と画題を変えた。縦180×横340の500号大の大作になった。ここ3、4年は布キャンパスから特注したベニヤキャンパスに描いている。

振り返ると「ショーウィンドーシリーズ」、「大地回想シリーズ」、「幕末SATSUMAシリーズ」と、10年くりで展開してしてきた。近年の「幕末SATSUMAシリーズ」は、時代錯誤のテーマで四苦八苦した。あえて選んだこのシリーズは、南日本新聞夕刊の連載小説・女傑松寿院「幕末に生きる」で描いた挿絵200枚からヒントを得て描いた。

「ろうけん鹿児島」10月号の表紙は、日常の部屋の片隅、卓上の白いカサブランカの花、バックは朱色と、周囲まで自由な色を使った。前回表紙「窓辺」と同じ時代の作品だ。画風は「ショーウィンドーシリーズ」以前の絵になっている。

今後も開拓精神を大切に新しいシリーズを新鮮な気持ちで描いていきたい。「絵描きには引退がない」は、鹿児島の二科会先輩で交流のあった鳥取政昭先生の言葉である。先生は桜島、世界の活火山を覚悟して60年余描き続けた。故人となり、もう絵の裏話は聞けなくなった。今は感謝しかない。



表紙絵 卓上 (1987年作)



●作家略歴：祝迫 正豊 (いわいざこ まさとよ)

- 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
- 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞(最高賞)
- 1992年 第77回二科展「二科賞」(最高賞)、他に会友賞、会員賞
- 1993年 文化庁現代美術展選抜展(全国巡回)
- 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
- 2013年 日本・スペイン交流400周年記念展招待(マドリッド市)
- 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、志学館中等高等部非常勤講師、鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇8月、東京五輪が閉幕した翌日、かつての会社の先輩が亡くなりました。1964年の東京大会で聖火トーチをつないだ高校生の1人でした。今回の五輪前に、テレビで取り上げられ、「白バイに追いかけるのではなく、(先導する)白バイを追いかけて走ったのは私だけ」などと、愉快な口調でエピソードを披露してくれました。コロナ禍で史上初の延期となるなど異例づくしでしたが、先輩が大会の終了まで見守っていたように感じて、印象的な五輪となりました。

◇「ろうけん広場」は、街中で見かけた楽しい風景、話題を紹介しています。今月号はユニークな商品の自動販売機をテーマにしました。密を避ける時代、対面販売のない自販機は需要が高まっているようです。このコーナーはみなさんからの面白い写真を募集しています。(米)

編集委員

米森 俊一(県老人保健施設協会理事)
加治屋 洋(さるびあ苑)
中飯屋 博(フレンドホーム)

ろうけん鹿児島

(令和3年秋号)

通巻105号 無料

令和3年10月1日発行

編集人 米森 俊一

発行人 今村 英仁

印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2
発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会



〒890-0053 鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F
電話099(090)1047 FAX099(090)1049
E-mail:k-roken@pc.minc.ne.jp
Website:https://kagoshima-roken.or.jp/

高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

理解

虐待が起きる要因は様々です。介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。

見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。

相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



高齢者虐待についてのご相談は、お住まいの市町村
又は地域包括支援センターへご相談ください。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び
地域包括支援センターについては、県
ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

高齢者やその家族に関する相談

【鹿児島シルバー110番】

TEL.0120-165270 又は TEL.099-250-0110

認知症に関する相談

【公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部】

(相談日/月～金 10:00～16:00) ※祝日は除きます

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010(若年性認知症相談窓口)

【若年性認知症コールセンター】

(相談日/月～土 10:00～15:00)

TEL.0800-100-2707